

憲法を活かして、くらしと平和を守り 公共を住民の手に取り戻そう

住民とともに、仲間とともに、心ひとつに、力あわせて



大阪自治労連第36回定期大会

大阪自治労連は、大阪市内で9月10日に第36回定期大会を開催しました。4年ぶりに代議員が会場に集まり、熱心な討論を経て、憲法を拠りどころに「住民の役に立ちたい」「よろこばれる仕事がしたい」という思いを一つに、大幅賃上げと格差是正、公共を住民の手に取り戻すために力を合わせる運動方針など、全ての議案を満場一致で採択し、同時に行われた役員選挙で新執行部を選出しました。

あわせて、いのち・安全・くらしを最優先に「大阪・関西万博の開催」の見直しを万博協会と大阪府・市に要請する特別決議を採択しました。

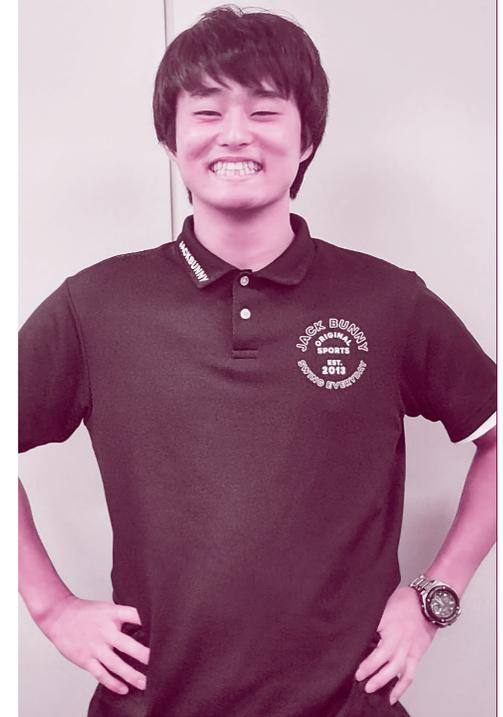
(2・3面に特集記事)

堺市職労 建設合同支部執行委員

北條 翔大さん
(道路整備課)



仕事にイそむ北條さん



この笑顔で、いろんな人に声をかけて仲よくなるそうです

就職すれば、組合に入るものだと思つてた

北條翔大さんは、今年就職して3年目の20歳。ちよこちよこ組合事務所にやって来ては、いつも楽しそうにすごしています。

趣味に全力!

趣味のゴルフでは、お父さんと一緒に打ちっぱなしへ行くこともあるとのこと。また、野球観戦も好きで、ずっとオリックスファンです。

います」と笑顔で教えてくれました。

仕事には学ぶことがいっぱい

仕事の内容を聞くと、「橋梁を補修・維持・管理のため、業者とやり取りをしています。公共工事の発注・管理もしています」と教えてくれました。仕事のやりがいについてたずねると「専門的なことが多いの

ンです。チケットが手に入りやすかったことが、好きになったきっかけでしたが、見に行くうちに好きになったとのこと。最近は強いのので楽しいようです。市役所の野球部にも入って自身も野球を楽しんでいます。

もうひとつは、お酒。週に2・3回、市役所周辺で飲んでみるのとか。話すことが好きなので、「職場のいろんな人に声をかけて

で勉強になり、やりがいがあります。工業高校で学んだことも活かせるし、先輩から教えてもらうこともたくさんあるんです」と話す北條さんです。

組合はいろんな人と関われるおもしろいところ

組合事務所にも頻繁に入りしている北條さん。労働組合をどう感じるかにつ

いては「父親が公務員なので、就職すれば労働組合は普通に入るものだと思つていました、大事なものだと思つていました」ときっぱり。驚いたのは、先輩からの勧誘などで組合に加入したのではなく、「加入呼びかけの用紙を見たときに、自然に『入ろう』と思つて記入し、近くの組合役員さんに加入届を手渡ししました」と語ります。

そんな北條さんが今、組合に入つて思うことは「組合に入っていない人が多いこと。『まだ、交渉などの難しいことはわからないけど、労働組合が大切なんだ』ということはある。何よりも、一番の魅力を感じているのは、たくさんの人とつながること」と楽しそうに話す北條さん。今後は「若手向けのイベントをやってみよう」と抱負を語ってくれました。最後に、今後も組合事務所へは行きますか?の問いかけに「たくさん話したいので、これからも行きます」と元気に答えてくれました。